

2022年に創業50周年を迎えた2つの会社。製品を届け続ける2社のこれまでと、これからの製造業を担う若者に伝えたいことを聞きました。

米澤 亘さん(52) 米澤製作 2代目社長(写真右)
杉山 健さん(38) 伍葉精機 副社長・次期社長(写真左)

■どんな会社ですか？

米澤：板金や精密板金を専門とする会社です。従業員29人の小さな会社ですが、全国の上場企業と取引があり、JR東海の新幹線や在来線車両内装の金属部分も手掛けています。

杉山：工作機械部品の中でも量産が難しいコレットチャックという部品の製作に強みを持っています。職人技が必要なパーツで、全国でも作る会社は少ないです。

■事業のやりがいや大変なところを教えてください

米澤：創業から培い継承してきた技術を認めてもらえた結果、小さな会社ながら上場企業からも「米澤さんに頼みたい」と仕事を任せてもらえるのがやりがいです。反対に、これからもこの技術をしっかり次世代に受け継がないといけないというプレッシャーがあります。

杉山：コレットチャックはオーダーメイドなので毎日作るものが変わります。図面から実際に形にする作業では、0.001ミリのズレも許されないという難しさがやりがいに繋がっています。事業をこれから継承する立場として、この先30年は会社を存続させないといけないというプレッシャーを感じています。

■これからの製造業を担う世代へのメッセージ

米澤：今日日本にある製造技術を業界全体で受け継がなければいけない中で、技術と魅力を次世代に伝えることが使命と感じています。若い人たちには、自分のために汗をかき勉強してほしいです。小さな企業でも技術力があれば大きな仕事ができる、そんなギャップをやりがいと感じて、熱意を持って働けば、技術と知識は後から付いてくると思います。

杉山：電気自動車へのシフトなど、製造業にとっては変化の時代。技術力が今以上に必要になってくると思います。だからこそ、若い人には時間を惜しまず自己投資してほしいとも思います。調べれば何でも分かる時代ですが、じっくり学んで自分のものにしたことは絶対将来のプラスになります。製造業に興味を持つ子が減っている中、小学生の見学受け入れなど、私たちにできることはこれからも続けていきたいと思っています。

50周年お祝い
ありがとう!



動画でも! YouTube
湖西市公式チャンネル



制作：浜松ケーブルテレビ(株)

「知っトク! 週刊こさい
(2022年12月5日号)」で
インタビューを動画でご
覧いただけます。



こさいモノづくり キッズ!



丸井 恵汰さん
(岡崎小学校6年生)

作ったモノ

風が吹いても洗濯物が集まらない
「らくらくハンガー固定器」

キッズ大募集!

Q. 作ろうとしたきっかけは?

両親が外で洗濯物を物干しざおに干しているときに、風でハンガーが片方に寄ってしまって乾かないのを見て「どうにかしたい」と思いました。

Q. 他に熱中しているモノは?

プラモデルが好きで、発売日を調べては近所のお店に自分で買いに行きます。日曜日は朝から作り始めて、2時間ぐらいいはあつという間。6時間ぐらい集中して作っていることもあります。

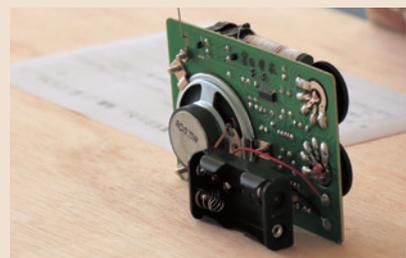
熱中してモノづくりに取り組むキッズ(★)を大募集します! プラモデル、マイクラフト、プログラミング、ブロック、工作など、お子さんが作った自慢の品を皆さんに見てもらいませんか? ウェブサイトの専用フォーム(下の二次元コード)から投稿してください。自慢の品とキッズの写真が必要です。

★幼児~中学生程度



秘書広報課
☎053-576-4541
FAX053-576-1139

今月の表紙



湖西少年少女発明クラブ

小学6年生「DSPラジオ(※)製作」

子どもたち自らはんだづけなどを行い、細かい部品を取り付けて完成



した場面です。撮影後、早速スイッチを入れて音が出るか確かめました。

※DSPはDigital Signal Processorの略。受信処理をデジタルで行うラジオ。

